

2021年9月

お取引先様各位

寿高原食品株式会社

2021年産りんごの状況について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、本年産りんごの加工を開始しました。本年産の作柄・加工動向につきまして、次の通りご案内いたしますので、ご参照の上、本年産のご用命を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

<記>

1. 生育動向

<長野県>

6月1日県発表の予想収穫量は、119,702t（前年比88%）となっております。

本年は、4月凍霜害があり着果量が少なくサビ果や変形果が見られる、6～7月降雹・突風、梅雨明け後は高温による日焼け果発生もあり、数量・品質共に厳しい状況です。

<青森県>

予想収穫量は、441,300t（前年比95%）となっております。

4月霜害があり着果量減サビ果や側果対応、6～8月降雨量が少なく肥大の鈍化など品質不良が心配されています。

2. 加工動向

今年は、加工仕向け量や原料価格の変動の心配は少ないと予想されておりますが、今後の天候や青果市場の動向が懸念されます。

昨年産では、原料確保・生産に大きな支障は見られませんでしたので、各社落ち着いた生産を開始しています。新型コロナウイルス感染症拡大は、この1年間各種りんご加工品の需給動向に影響を与えており注視している次第です。

弊社では、本年産のりんご加工品について別紙品目の生産を計画しておりますので、ご参照の上、ご用命賜りますようよろしくお願いいたします。

以上